

「小中学生や高校生向け」にわかりやすく構成した教育資料




内容は「予防原則の考え方」「回収できない汚染の問題」「未来を守るためにどうするか」を、図解・例えを交えて紹介しています。

環境をまもるってどういうこと？

～知らないうちに広がるゴミや薬の話～

1. 目に見えないゴミって、なに？

みんなが使っているものの中に、目に見えないけど自然に戻らないゴミがあるんだ。

-  洗濯したときに出る「マイクロプラスチック」
-  タイヤが道路ですりへって出る「黒い粉」
-  野菜を育てるときの「農薬」が雨で流れる

これらは小さすぎて回収できないのに、自然にどんどんたまっていくんだ。

2. 本当に安全かは、まだわからない

科学ではまだ「ぜったいに安全」と言いきれないものもたくさんあるよ。

たとえば、

- 海の魚からプラスチックが見つかる
- ミツバチが減っている（農薬が原因かも）

でも、使い続けている。なぜかというと…

☞「回収できないけど便利だから」「まだはっきりした被害がないから」

という理由で、止める決断ができないのが現実なんだ。

3. 回収できないから「しょうがない」じゃない！

自然にまいたら元に戻せない。

- ・ プラスチックは分解に数百年かかる
- ・ 土の中の農薬や化学物質は地下水までしみこむ

だから、「回収がむずかしい」ものこそ、最初から自然に出しちゃダメ！

④ 取り返しがつかない前に止めることを「予防原則」って言うよ。

4. 「予防原則」ってなに？

🔍 「まだはっきりした被害がなくても、悪いかもしれないなら、あらかじめ止めておこう」という考え方。

- ・ 火事が起きる前に消火器を用意するのと同じ
- ・ 地震が来る前に家具をとめておくのと同じ
- ・ 病気になってからじゃなくて、予防接種するのと同じ

✂ 5. イノベーション(新しい技術)とのバランスも大事！

新しいものをぜんぶ止めるのはよくないよね？

だから、こうすればいい：

💡 新しいものを使うとき 🛠 汚れを自然に出さない工夫

研究は室内で行う 自然に出さないように密閉する

汚れが出たら全部回収する 汚れが海や空気に行かないようにする

影響があればすぐ中止する 影響をこまめにチェックする

🌀 6. 未来のために、いま考えよう！

- ・ 目に見えなくても、ゴミは広がっている
- ・ 今の選択が、将来の環境や命にかかわってくる
- ・ 自然に出たものは、100年後も残るかもしれない

🔄 「自然に戻らないものは、自然に出さない」
そんなルールが未来を守るための第一歩なんだ。

7. まとめ

ポイント	内容
👁️	見えない汚れが広がっている プラスチック・農薬・タイヤなど
❌	回収できないなら出しちゃダメ「回収できない」は理由にならない
🔍	予防原則で未来を守ろう はっきり危ないとわからなくても、あらかじめ止めよう
🏆	バランスも大切 使いながら、汚さない工夫を

👤 ワークシート案(授業用)

1. あなたの生活で自然に出ているかもしれないものを3つ見つけよう
2. それを止める・回収するにはどうすればよいか考えよう
3. 予防原則にあてはまる行動を1つ考えてみよう